

徳島県鳴門海峡のシラス二艘船曳網漁業で混獲されたマダコ稚仔

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 白木, 美聡
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014524

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



徳島県鳴門海峡のシラス二艘船曳網漁業で混獲されたマダコ稚仔（短報）

白木美聡

1998年10～11月に、徳島県鳴門海峡を漁場とするシラス漁で混獲されたマダコ稚仔を調査した。4回の調査で得られたタコ類浮遊期稚仔から、外套膜腹面の色素数と分布状態、および8本の腕長が均一であることを指標に合計662尾のマダコ稚仔を選別した。得られたマダコ稚仔の大きさは外套長2.1～10.0 mm、吸盤数3～45個の範囲にあった。

マダコ産卵期とシラス漁期とが一致しており、この漁法がマダコ稚仔を採集できるため一度に多くの個体を採集できたと考えられた。

栽培技研, 29(1), 55-57, 2001